

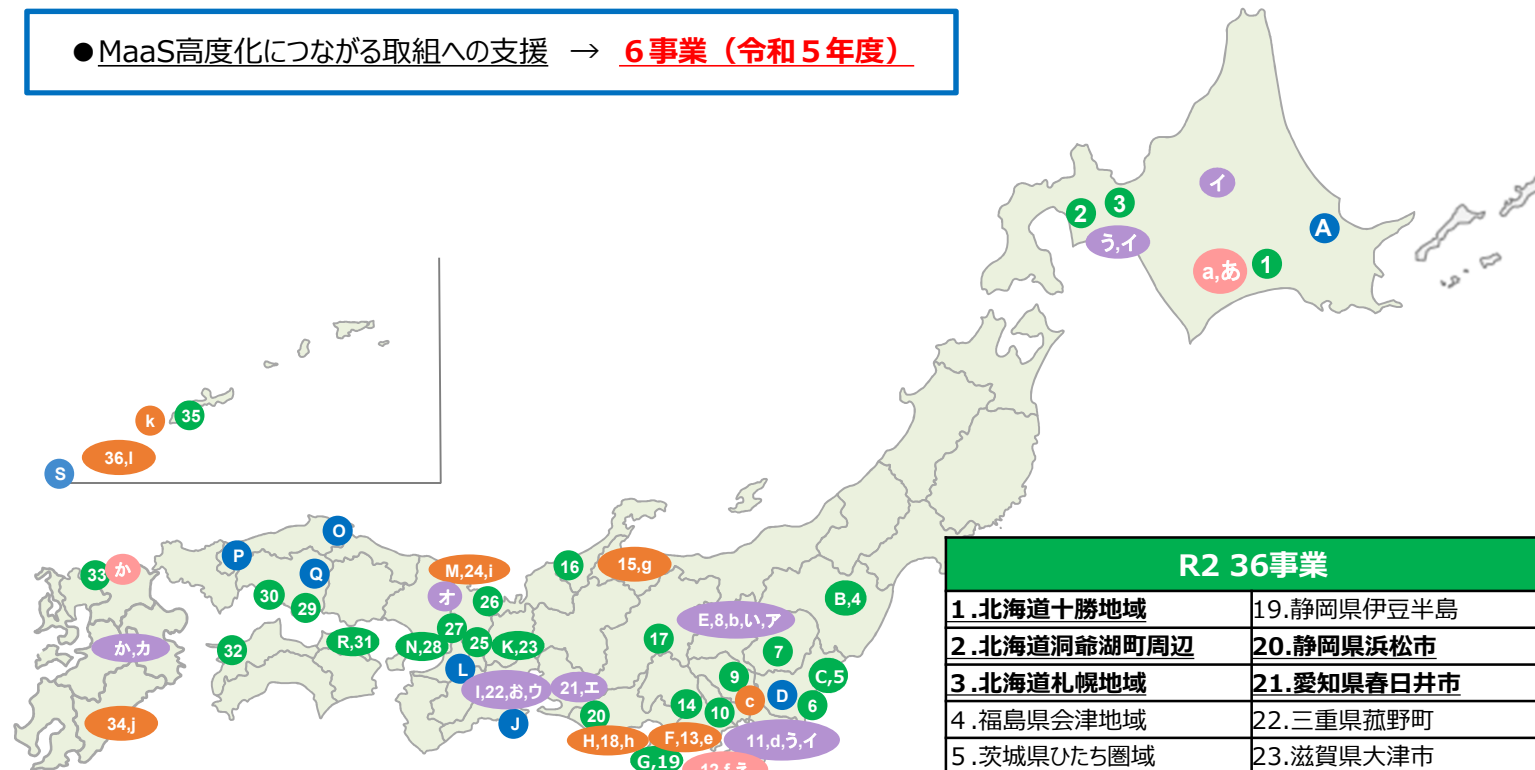
別紙

# 令和5年度 日本版MaaS推進・支援事業 6事業について

---

# 日本版MaaS推進・支援事業の拡大

● MaaS高度化につながる取組への支援 → **6事業（令和5年度）**



| R5 6事業 |              |
|--------|--------------|
| ア      | 群馬県前橋市       |
| イ      | 札幌市・旭川市・横須賀市 |
| ウ      | 三重県菟野町       |
| エ      | 愛知県春日井市      |
| オ      | 関西全域、愛知県の一部  |
| カ      | 九州全域         |

※下線部事業はR5年度新規

| R2 36事業       |                |
|---------------|----------------|
| 1.北海道十勝地域     | 19.静岡県伊豆半島     |
| 2.北海道洞爺湖町周辺   | 20.静岡県浜松市      |
| 3.北海道札幌地域     | 21.愛知県春日井市     |
| 4.福島県会津地域     | 22.三重県菟野町      |
| 5.茨城県ひたち圏域    | 23.滋賀県大津市      |
| 6.茨城県土浦市      | 24.京都府京丹後市     |
| 7.栃木県宇都宮市     | 25.京都府京都市      |
| 8.群馬県前橋市      | 26.京都府舞鶴市      |
| 9.埼玉県三芳町      | 27.大阪府池田市      |
| 10.神奈川県横浜市周辺  | 28.兵庫県神戸市      |
| 11.神奈川県横須賀市周辺 | 29.広島県福山市      |
| 12.神奈川県三浦半島   | 30.広島県広島市      |
| 13.神奈川県川崎市    | 31.香川県高松市      |
| 14.神奈川県南足柄市   | 32.愛媛県南予地域・松山市 |
| 15.富山県朝日町     | 33.福岡県糸島市      |
| 16.石川県加賀市     | 34.宮崎県宮崎市・日南市  |
| 17.長野県茅野市     | 35.沖縄県全域       |
| 18.静岡県静岡市     | 36.沖縄県宮古島市     |

| R1 19事業 |              |
|---------|--------------|
| A       | ひがし北海道エリア    |
| B       | 福島県会津若松市     |
| C       | 茨城県日立市       |
| D       | 茨城県つくば市      |
| E       | 群馬県前橋市       |
| F       | 神奈川県川崎市・箱根町  |
| G       | 静岡県伊豆エリア     |
| H       | 静岡県静岡市       |
| I       | 三重県菟野町       |
| J       | 三重県志摩地域      |
| K       | 大津・比叡山       |
| L       | 京都府南山城村      |
| M       | 京丹後地域        |
| N       | 兵庫県神戸市       |
| O       | 山陰エリア（島根・鳥取） |
| P       | 島根県大田市       |
| Q       | 広島県庄原市       |
| R       | 瀬戸内エリア       |
| S       | 沖縄県八重山地域     |

※下線部25事業はR2年度新規

| R4 6事業 |            |
|--------|------------|
| あ      | 北海道芽室町     |
| い      | 群馬県前橋市     |
| う      | 神奈川県横須賀市、他 |
| え      | 神奈川県三浦半島   |
| お      | 三重県菟野町     |
| か      | 九州全域       |

| R3 12事業 |            |
|---------|------------|
| a       | 北海道芽室町     |
| b       | 群馬県前橋市     |
| c       | 東京都大丸有地区   |
| d       | 山手線周辺/横須賀市 |
| e       | 川崎市・箱根町    |
| f       | 神奈川県三浦半島   |
| g       | 富山県朝日町     |
| h       | 静岡県静岡市     |
| i       | 京都府与謝野町    |
| j       | 宮崎県        |
| k       | 沖縄県        |
| l       | 沖縄県宮古島市    |

※下線部3事業はR3年度新規



# 各事業の取組概要

---

※公募申請時の資料のため、今後、変更の可能性があります。

# 市民の移動データを活用したMaaS高度化事業






地域公共交通の利便性を向上させるために、これまでから継続して「MaaS推進」と「交通網の最適化」の両輪で取り組む。本事業ではパーソントリップ調査の結果等を基に市民の移動実態を明らかにし、真のニーズに合った交通網を検討する。また、昨年度より実施している交通データ分析について、GunMaaSにより取得できるデータ等が分析可能となるよう高度化を行う。

|                            |  |                            |   |
|----------------------------|--|----------------------------|---|
| <p>協議会の<br/>構成員</p>        | <p>【幹事(事務局)】前橋市<br/>株式会社NTTデータ、一般社団法人群馬県バス協会、東日本旅客鉄道株式会社</p>   |                            | <p style="text-align: center;"><b>事業イメージ</b></p>   |
| <p>地域<br/>課題</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通の維持のための市の財政負担の増加</li> <li>● 免許非所有者の低い外出率</li> <li>● 通勤・通学における公共交通利用割合の低さ</li> <li>● 中高生の交通事故の多さ</li> <li>● 地域と対応を協議する上でのエビデンス不足</li> </ul>  |                            |   |
| <p>事業<br/>概要</p>           | <p>サービス<br/>開始時期</p>   | <p>令和6年1月頃（サービス提供開始時期）</p> | <p style="text-align: center;"><b>評価指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バス路線再編の検討対象路線数 3路線</li> <li>● 重点的に公共交通転換に取り組むべきエリアの特定 3エリア</li> <li>● 各種会議体における検討根拠データの提示に対する参加者満足度 70%</li> <li>● 分析結果をもとに議論する交通事業者数 6事業者</li> <li>● MaaSにおいて連携を強化すべき他分野の特定 2分野</li> <li>● 前橋市における公共交通利便増進に向けた新たな施策検討数 2施策</li> </ul>  |
| <p>事業<br/>エリア</p>          | <p>群馬県前橋市全域 および隣接地域</p>  |                            |   |
| <p>MaaS<br/>システム</p>       | <p>JR東日本が提供するMaaSプラットフォーム「モビリティ・リングージ・プラットフォーム」を活用し「GunMaaS(グンマース)」としてwebサービスを提供。(MaaSを群馬県下に拡大)</p>  |                            | <p style="text-align: center;"><b>今後の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の移動実態やニーズに即した公共交通そのものの再編、継続的な改善</li> <li>● GunMaaSの取組みにより蓄積される移動データのさらなる利活用（属性や券種等を踏まえたきめ細やかな分析）</li> <li>● 移動データ等の取得・連携・利活用の手法を確立し群馬県や県下の自治体に展開</li> <li>● バス以外の交通モードも併せた、GunMaaS全体としてのサブスクリプションサービス・乗り継ぎ施策・他分野連携の実現</li> </ul>  |
| <p>交通<br/>サービス</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● パーソントリップデータ等から市民の移動実態を可視化し交通網の再編や交通安全施策を検討できる環境の実装</li> <li>● 既に開始している交通データ分析の高度化</li> <li>※以下の取り組みはGunMaaSとして実施</li> <li>● オープンデータを活用したリアルタイム経路検索の提供（バスロケ・シェアサイクル・デマンド交通等）</li> <li>● デマンド交通の予約を一元化</li> <li>● デジタルフリーパスの販売</li> <li>● 市民認証による前橋市民割引等、属性に応じた割引サービスの提供（マイナンバーカード認証基盤と連携）</li> </ul> |                            |   |
| <p>事業<br/>目的</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民の移動実態、真のニーズに合った交通網の実現</li> <li>● 属性に応じたきめ細やかなサービスの実現</li> <li>● 事故の少ない安心安全な移動環境の整備</li> </ul>   |                            | <p style="text-align: center;"><b>目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民のニーズに合わせて地域の交通網を最適化することにより、MaaSをより地域に定着させる</li> <li>● 自家用車や自転車での移動から公共交通への転換を促し、事故の少ない安全な移動環境を目指す</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>取組み 1 市民の移動データの可視化</b></p>  <p style="text-align: center;"><b>取組み 2 交通データ分析の高度化</b></p>  |
| <p>交通<br/>以外の<br/>サービス</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本事業を通して、すでに他分野連携を行っているGunMaaSで“どの分野との連携をより強化すべきか”を明らかにする（例：通院・通学環境の整備、関連機関との連携等）</li> <li>※以下の取り組みはGunMaaSとして実施</li> <li>● 地域の観光施設や飲食店の検索機能の提供</li> <li>● 路線バスのデジタルフリーパス購入者への店舗等特典付与</li> </ul>   |                            |   |

# Universal MaaS～誰もが移動をあきらめない世界へ～

移動躊躇層(※)が抱えている課題を、Universal MaaSのコンセプトに従って利用者および自治体、地域、事業者の視点から解決し、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。これまでの実証実験結果、社会実装状況を踏まえ、更に対象を広げる。

※障がいや高齢など、何らかの理由により移動を躊躇している方々。

|                       |  |   |   |                |  |          |  |        |  |           |  |   |
|-----------------------|--|---|---|----------------|--|----------|--|--------|--|-----------|--|---|
| <p><b>協議会の構成員</b></p> | <p>※下線 = 新規団体<br/>                 【顧問】中央大学研究開発機構 秋山哲男研究室 【幹事】ANAグループ<br/>                 【協力】交通エコロジー・モビリティ財団</p> <p>【横須賀エリア】横須賀市、京急電鉄、LocaliST（横浜国大 発ハンチャー）<br/>                 【札幌エリア】札幌市 観光型MaaS「三浦COCOON」との連携検討<br/>                 【旭川エリア】旭川市、旭川観光コンベンション協会、カムイ大雪バリアフリー研究所</p> <p>【機能/サービス】（以下以外にパートナー数十社を予定）<br/>                 (1) 一括サポート手配：<br/>                 JR東日本、東京モノレール、MKタクシー、JR北海道、札幌市営地下鉄<br/>                 旭川中央交通、旭川電気軌道、道北バス、フェリー会社（調整中）<br/>                 (2) ユニバーサル地図/ナビ：<br/>                 ①屋外 下肢障がい：WheelLog、ゼンリン、ゼンリンデータコム<br/>                 ②屋外 視覚障がい：損保ジャパン、プライムアシスタンス、Ashirase<br/>                 ③屋内 下肢/視覚障がい：清水建設</p>   | <p style="text-align: center;"><b>取組イメージ</b></p>  |   |                |  |          |  |        |  |           |  |   |
| <p><b>地域課題</b></p>    | <p>介助やサポートを必要としている利用者への対応が、自治体・地域・事業者毎に異なっており、また各交通事業者や施設管理者の連携方法が定まっていないため、利用者側、事業者側、双方の負担となってしまう。</p>  | <p style="text-align: center;"><b>MaaSを通じて提供するサービスを含む事業イメージ</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>各種交通移動における一括サポート手配の実現</b></p> <p>【現在】各事業者へ個別に都度、連絡・確認    【未来】各事業者に一括手配</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>徒歩区間における情報統合の実現(地図/ナビ)</b></p> <p>【現在】自分に合った情報が不足    【未来】自分に合った情報や選択肢が充足</p> <p>※地域内の周遊や交通結節点の移動における課題を解決(以下○印のエリア)</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">利用者/地域・自治体・事業者の視点で課題整理、実証実験を経て解決策確立、あるべき姿の実現を目指す</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>課題</b></p> <p><b>各種交通移動シーン</b><br/>各事業者に、個別に介助手配依頼をするのが大変</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>徒歩シーン</b><br/>サービスや情報が不足していて自律的な移動が難しい</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>解決策</b></p> <p><b>(1)一括サポート手配</b><br/>各事業者の介助手配窓口を一元化、当日の移動もスムーズに</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>(2)ユニバーサル地図/ナビ</b><br/>様々な情報を集約して提供、自律的な移動を補助</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>出発地 短距離 駅 中距離 駅 空港 長距離 空港 中距離 目的地 周遊<br/>                 → door-to-doorの移動</p> </div> <p style="text-align: center;"><b>あるべき姿</b>    <b>誰もが快適にストレスなく移動を楽しめる社会の実現</b></p> |   |                |  |          |  |        |  |           |  |   |
| <p><b>事業概要</b></p>    | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">サービス開始時期</td> <td>一部地域で社会実装完了。昨年度の課題解決・追加機能の実証実験後、2023年度以降のサービス横展開を目指す。</td> </tr> <tr> <td>事業エリア（下線 = 新規）</td> <td>【横須賀】中心部、観光地周辺、連携都市（松山）<br/>                 【札幌】中心部（重点整備地区）、郊外エリア<br/>                 【旭川】観光地までの各種交通動線と交通結節点周辺</td> </tr> <tr> <td>MaaSシステム</td> <td>既存経路検索サービスや観光案内サイトに以下を連携し、住民や観光客にご利用いただく<br/>                 (1) 一括サポート手配 (2) ユニバーサル地図/ナビ</td> </tr> <tr> <td>交通サービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道、バス、タクシー等に関する各種交通サービス、交通結節点の移動支援、目的地内の周遊支援</li> <li>● 希望するルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状況の確認を可能とする情報・機能の提供</li> <li>● 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者により依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能の提供</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>交通以外のサービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 徒歩エリアの移動を補助するユニバーサル情報</li> <li>● 各種移動支援サービスや機能との連携</li> </ul> </td> </tr> </table> <p><b>事業目的</b></p> <p>利用者および自治体、地域、事業者の視点から、移動に困っている人々の課題解決を行い、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。</p> | サービス開始時期  | 一部地域で社会実装完了。昨年度の課題解決・追加機能の実証実験後、2023年度以降のサービス横展開を目指す。 | 事業エリア（下線 = 新規） | 【横須賀】中心部、観光地周辺、連携都市（松山）<br>【札幌】中心部（重点整備地区）、郊外エリア<br>【旭川】観光地までの各種交通動線と交通結節点周辺 | MaaSシステム | 既存経路検索サービスや観光案内サイトに以下を連携し、住民や観光客にご利用いただく<br>(1) 一括サポート手配 (2) ユニバーサル地図/ナビ | 交通サービス | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道、バス、タクシー等に関する各種交通サービス、交通結節点の移動支援、目的地内の周遊支援</li> <li>● 希望するルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状況の確認を可能とする情報・機能の提供</li> <li>● 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者により依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能の提供</li> </ul> | 交通以外のサービス | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 徒歩エリアの移動を補助するユニバーサル情報</li> <li>● 各種移動支援サービスや機能との連携</li> </ul> | <p style="text-align: center;"><b>評価指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [指標]以下サービスの利用数<br/>                 (1) 一括サポート手配、(2) ユニバーサル地図/ナビ</li> <li>● [目標] (1) 昨年度同時期における介助を必要とする方々と付添者の来訪者数5%増<br/>                 (2) 昨年度における月間最大値の5%増</li> <li>● [測定方法]利用実績ログより算出</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>今後の方向性</b></p> <p>(1) 一括サポート手配：観光地および住民の生活圏をゴールとした各種交通の手続きを統合<br/>                 (2) ユニバーサル地図/ナビ：街の中心部や観光地周辺の情報・サービス等を統合<br/>                 ⇒(1)(2)の対象エリアを増やしつつ、並行して対象となる移動躊躇層の幅を広げていく</p> |
| サービス開始時期              | 一部地域で社会実装完了。昨年度の課題解決・追加機能の実証実験後、2023年度以降のサービス横展開を目指す。  |   |   |                |  |          |  |        |  |           |  |   |
| 事業エリア（下線 = 新規）        | 【横須賀】中心部、観光地周辺、連携都市（松山）<br>【札幌】中心部（重点整備地区）、郊外エリア<br>【旭川】観光地までの各種交通動線と交通結節点周辺   |   |   |                |  |          |  |        |  |           |  |   |
| MaaSシステム              | 既存経路検索サービスや観光案内サイトに以下を連携し、住民や観光客にご利用いただく<br>(1) 一括サポート手配 (2) ユニバーサル地図/ナビ   |   |   |                |  |          |  |        |  |           |  |   |
| 交通サービス                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道、バス、タクシー等に関する各種交通サービス、交通結節点の移動支援、目的地内の周遊支援</li> <li>● 希望するルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状況の確認を可能とする情報・機能の提供</li> <li>● 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者により依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能の提供</li> </ul>   |   |   |                |  |          |  |        |  |           |  |   |
| 交通以外のサービス             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 徒歩エリアの移動を補助するユニバーサル情報</li> <li>● 各種移動支援サービスや機能との連携</li> </ul>   |   |   |                |  |          |  |        |  |           |  |   |

# おでかけをもっと快適に！ 菟野町MaaS「おでかけこもの」の機能高度化による公共交通の利用促進

もっと快適に移動できる公共交通を目指して、AIオンデマンド乗合交通(以下、のりあいタクシー)の配車時間の短縮につながるコミュニティバスとの「乗り継ぎ案内機能」と公共交通(近鉄・コミュニティバス・のりあいタクシー)の動的な運行情報(発着時刻・遅延情報等)の確認機能を菟野町MaaS「おでかけこもの」に追加導入し、公共交通の運行の効率化・利便性向上を図る。

|           |   |  |   |  |
|-----------|---|--|---|--|
| 協議会の構成員   | 菟野町【幹事】、近畿日本鉄道(株)、三重交通(株)、(有)尾高<タクシー事業者>、御在所ロープウェイ(株)、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、三重県地域・交通部交通政策課、名古屋大学大学院環境学研究科【オブザーバー】菟野町観光協会、NTTコミュニケーションズ(株)東海支社 <スポンサー>  |  | 事業イメージ  |  |
| 地域課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● のりあいタクシーの長距離利用者の存在により、必要な時に利用できない人がいる</li> <li>● 駅やバス停などの待合環境が良くない</li> <li>● より快適な移動のために必要な情報を、必要とされる場面で提供しきれていない</li> <li>● 中学生・高校生、町北部の高齢者の公共交通の利用が少ない</li> <li>● 町民の移動実態を定量的に把握・分析することが困難</li> </ul> |  |   |  |
| 事業概要      | サービス開始時期  | 令和6年2月実証実験実施<br>令和6年4月運用開始   | <p style="text-align: center;"><b>「より快適により多くの人々に公共交通を使ってもらうこと」の実現</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1097 518 1523 893"> <p><b>■「乗り継ぎ案内機能」の追加</b></p>  <p>経路検索結果として「乗り継ぎパターン」を優先的に表示。のりあいタクシーとコミュニティバスとの乗り継ぎを促進。</p> </div> <div data-bbox="1534 518 2038 893"> <p><b>■公共交通の動的な運行情報の提供＋主要な目的地への行先案内掲示</b></p>  <p>おでかけこものやサイネージ(+音声案内)から各待合場所に最適化された情報を発信。駅や乗降場所から離れた場所でも、分かりやすく安心して公共交通を待つことを可能に。</p> </div> </div> <div data-bbox="1097 901 2038 1021"> <p><b>■データの集約・可視化</b><br/>現状取得可能なおでかけこもの利用データ等のモビリティデータを集約し、Tableau等のBIツールを使い、モビリティデータとその他外部データ(例:天候データ)を掛け合わせて可視化。⇒今後の更なる課題把握・施策立案に活用していく。</p> </div> |  |
|           | 事業エリア   | 菟野町全エリア  |   |  |
|           | MaaSシステム  | 菟野町地域公共交通会議とNTTコミュニケーションズ(株)東海支社が共同開発  |   |  |
|           | 交通サービス  | <p>【追加機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 乗り継ぎ案内機能(経路検索結果において「乗り継ぎパターン(≒一番安い移動方法)」を優先的に表示)</li> <li>● おでかけこものやサイネージによる公共交通の動的な運行情報の提供</li> </ul> <p>【実装済機能(抜粋)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ルート検索(鉄道、バスだけでなく、のりあいタクシーを利用したルート検索も可能。近鉄特急予約へも遷移可)</li> <li>● のりあいタクシーの検索、予約、事前決済(d払い)</li> </ul> |   |  |
| 交通以外のサービス | <p>【追加機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● データの集約・可視化</li> </ul> <p>【実装済機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント情報の発信</li> </ul>   |  |   |  |
| 事業目的      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● のりあいタクシーの配車時間の短縮による運行の効率化</li> <li>● 公共交通の動的な運行情報を提供し、利用者の利便性向上</li> </ul>   |  | 評価指標  |  |
|           |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● のりあいタクシー月間利用者数 : 1,680人/月</li> <li>● おでかけこものアクティブユーザ数 : 825人/月</li> <li>● サイネージの満足度 : 50%以上</li> <li>● 主要な目的地への行先案内の満足度 : 50%以上</li> <li>● データの定量評価に関する時間の短縮 : 4時間/月削減</li> </ul>  |  |
|           |   |  | 今後の方向性  |  |
|           |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 継続的に機能追加・改善を行い、町民の「おでかけ」を支援する</li> <li>● データ連携基盤(都市OS)の中心に「おでかけこもの」を位置づけ、防災などの他分野とのデータ連携を検討する</li> </ul>   |  |

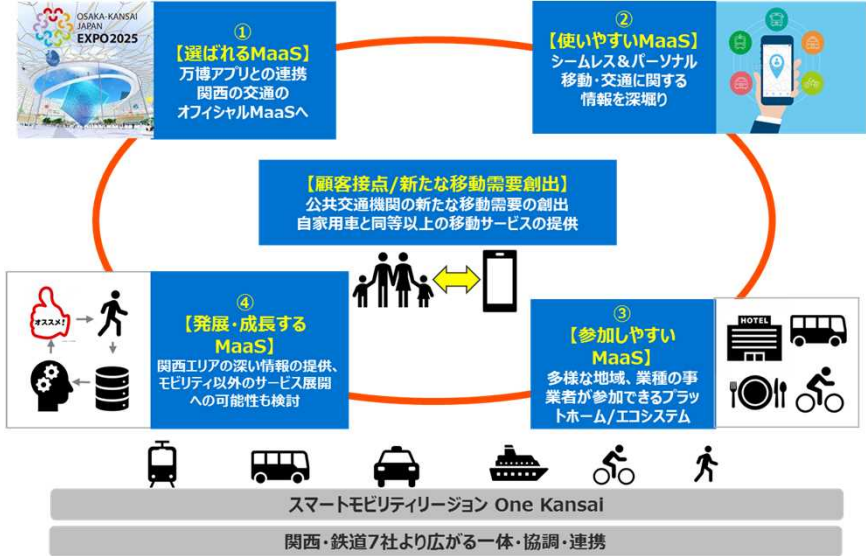
# MaaSアプリと交通結節点の連携による「気軽におでかけできるまち」の実現

春日井市版MaaSアプリ「CentX/move！かすがい」およびエリア版MaaSアプリ「CentX」と、過年度に高蔵寺ニュータウンで試験的に設置したスマートな交通結節点「モビリティポート」を連携させることにより、高蔵寺ニュータウン内で展開する多様な交通サービスを1つのデバイスで利用可能とし、ニュータウン住民や来訪者が「気軽におでかけできるまち」の実現を目指す。

|               |  |  |  |  |
|---------------|--|--|--|--|
| 協議会の<br>構成員   | 春日井市、名古屋大学、【幹事】一般財団法人計量計画研究所、大日本印刷株式会社、名古屋鉄道株式会社、独立行政法人都市再生機構中部支社、株式会社未来シェア、高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社  |  | <p style="text-align: center;">事業イメージ</p> <p style="text-align: center;"><b>高蔵寺ニュータウンでのMaaSアプリと交通結節点「モビリティポート」連携実証実験イメージ</b></p>   |  |
| 地域<br>課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化に伴い、「移動」に不安を抱える高齢住民が増加</li> <li>● 路線バス運行本数やタクシー事業者の減少と移動サービス多様化</li> <li>● ニュータウン内の賃貸住宅の空き室増加</li> <li>● 「気軽なおでかけ」に対する潜在的なニーズの存在</li> <li>● バス事業効率化に伴うバス乗車券販売窓口の縮小</li> </ul>                    |  |  |  |
| 事業<br>概要      | サービス<br>開始時期   | 2023年12月   | <p style="text-align: center;">評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域内の公共交通利用者数の変化</li> <li>● 地域住民の外出頻度の変化</li> <li>● ニュータウン内の賃貸住宅への継続的な居住意向・転居意向の変化</li> <li>● MaaSアプリ・モビリティポートの利用回数 等</li> </ul>   |  |
|               | 事業エリア  | 春日井市 高蔵寺ニュータウン内  |  |  |
|               | MaaS<br>システム   | 春日井市版MaaSウェブアプリ「move！かすがい」を改良、「モビリティポート」と連携  |  |  |
|               | 交通<br>サービス   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高蔵寺ニュータウン内で運行されている「AIオンデマンド乗合サービス」や実証実験期間中に導入するシェアモビリティの予約機能、コミュニティバスの乗車券販売機能、地域内の商業施設等のクーポン発券機能等を備えたMaaSアプリの機能強化</li> <li>● 上記アプリ機能をエリア内に設置する「モビリティポート」に実装することで、スマホを使わない人でも気軽にMaaSアプリを使っておでかけできる環境を実現</li> </ul> |  |  |
| 交通以外<br>のサービス | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域内の商業施設等の情報やクーポンをマップ形式で情報提供し、地域内のおでかけを促進</li> </ul>  |  | <p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ニュータウン住民や来訪者の移動利便性向上と施設連携でのサステナブルな運用モデル作成</li> <li>● ニュータウン内地域イベント情報提供でのお出かけ機会創出</li> <li>● 公共交通利便性向上によるUR賃貸住宅の入居率向上・定住率向上</li> <li>● バス・モビリティポートでのタッチポイントによる移動データ取得とデータ活用</li> </ul> |  |
| 事業<br>目的      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● アプリとモビリティポートの連携等に関する技術的検証</li> <li>● アプリとモビリティポートの連携に対する市民の受容性や行動変容効果の検証</li> <li>● モビリティポートの設置・運用が賃貸住宅の居住意向や外出頻度の向上等、地域の価値向上に及ぼす影響の把握・検証</li> <li>● アプリやモビリティポートの維持・管理コストをまかなうためのスキーム構築</li> </ul> |  |  |  |

# 「関西MaaS」機能高度化事業

2023年夏にローンチを予定している、関西鉄道事業者の連携によるMaaSである「関西MaaS」について、万博との機能連携も見据え、2025年大阪・関西万博に向けた観光需要促進機能の高度化を推進する。

|             |  |   |  |
|-------------|--|---|--|
| 協議会の<br>構成員 | 【協議会代表】大阪市高速電気軌道(株)<br>近鉄グループホールディングス(株)、京阪ホールディングス(株)、<br>南海電気鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)  |   | <p style="text-align: center;">事業イメージ</p> <p style="text-align: center;"><b>MaaSを通じて提供するサービスを含む事業イメージ</b></p>                                  |
| 地域<br>課題    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西交通事業者の幅広い連携を通じた移動サービスの高度化</li> <li>● 2025年大阪・関西万博来場者の輸送円滑化と観光需要促進</li> </ul>  |   |  |
| 事業<br>概要    | サービス<br>開始時期   | サービス開始：2023年夏（予定）<br>機能高度化実装：2023年度末（予定）  | <p style="text-align: center;">評価指標</p> <p>評価指標、目標、測定方法などを記載（2023年度末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 【選ばれるMaaS】協議会との連携団体数</li> <li>● 【使いやすいMaaS】アプリ会員数・チケット発売数</li> <li>● 【参画しやすいMaaS】協議会会員数、チケット販売事業者数</li> </ul> |
|             | 事業エリア  | 大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、三重県、和歌山県及び愛知県の一部  |  |
|             | MaaS<br>システム   | 協議会により新規構築  |  |
|             | 交通<br>サービス   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経路検索機能：一般的機能のほか、協議会構成員（大阪市高速電気軌道、近畿日本鉄道、京阪電気鉄道、南海電気鉄道、西日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道他、協議会構成員グループ事業者等）の静的・動的データ（駅構内図・列車走行位置）に連携する機能を有しており、順次連携を拡大</li> <li>● 電子チケット：協議会構成員の企画乗車券を順次収容</li> </ul> |  |
|             | 交通以外<br>のサービス  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光データベース：関西一円の主な観光施設・イベント情報を掲載</li> <li>● 電子チケット：自治体・観光団体との連携により、関西一円の観光施設入場券等を順次収容</li> </ul>   |  |
| 事業<br>目的    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西MaaSは関西一円の交通事業者との連携を視野に入れた、日本初の本格的な大規模MaaSとして構築するもので、当面は2025年大阪・関西万博との連携による利用促進を目的としつつ、将来的には広く公共交通の利便性向上に寄与し、多くの交通事業者等が活用できるデータ連携基盤となることを目指している。</li> </ul> |   | <p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存の移動を補完する新たな移動需要を創出する（事業者視点）</li> <li>● DX、CO2削減、高齢化等の時代の要請に応える新たな社会インフラとなる（社会的視点）</li> </ul>  |



# 九州における広域MaaS推進事業

九州全域および沖縄に展開したMaaSアプリ“my route”について、さらなる展開エリアの深耕を行うとともに、県域を超えた広域サービスの提供や、地域で運営されている他分野サービスとの連携・共創に取り組み、地域交通ネットワークの持続性向上や九州観光の魅力・競争力の更なる向上に貢献する。

|   |   |  |
|---|---|--|
| <b>協議会の<br/>構成員</b>   | <p>【事務局】九州旅客鉄道(株)、西日本鉄道(株)<br/>         【構成員】宮崎県におけるMaaS実行委員会、さがMaaS事業実行委員会、長崎県MaaS実行委員会、由布院地区におけるMaaS実証実験実行委員会、大分県西部MaaS推進交通事業者連絡会、熊本県MaaS推進交通事業者連絡会、福岡県MaaS推進交通事業者連絡会、沖縄スマートシフトプロジェクト（今後設置する実行組織等も随時参画）、国土交通省九州運輸局、（一社）九州経済連合会、（一社）九州観光機構</p>   | <p style="text-align: center;"><b>事業イメージ</b></p> <p style="text-align: center;"><b>MaaSを通じて提供するサービスのイメージ</b></p> |
| <b>地域<br/>課題</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口減少・高齢化・担い手の不足等により、交通事業者が大変厳しい事業環境にある中で、地域交通ネットワークの持続性向上</li> <li>● 需要が回復傾向にある観光分野における地域間の競争力の向上</li> </ul>   |  |
| <b>事業<br/>概要</b>  | サービス<br>開始時期  | 2023年7月～   |
|   | エリア   | 九州・沖縄各県  |
|   | MaaS<br>システム  | my route<br>（トヨタファイナンシャルサービスが提供するMaaSアプリ）  |
| 交通<br>サービス  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通需要の根源である目的地に関するお出かけ情報の発信</li> <li>● 目的地までの交通手段・ルート・料金検索</li> <li>● 交通デジタルチケット</li> <li>● 交通＋目的地におけるサービスの複合デジタルチケット</li> <li>● 購入・利用に関するデータの取得と利活用</li> </ul>   |  |
| 交通以外の<br>サービス   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光・イベント情報の発信</li> <li>● 観光施設入館券等の販売</li> <li>● 地域の他サービス・アプリとの連携によるサービス提供</li> <li>● 広域MaaSを支える人的プラットフォームの構築・維持</li> <li>● ノウハウ等の共有によるリソースの効率化</li> </ul>   |  |
| <b>事業<br/>目的</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 目的地に関する情報発信等により、コロナによって落ち込んでいた移動総需要の増加を図るとともに、公共交通によるアクセス情報やお得で使いやすいデジタルチケットの提供により、公共交通分担率を向上させ、人口減少という逆境下においても、公共交通利用者の維持を目指す。</li> <li>● 若年層における運転免許取得率低下や、環境意識の高まりにより、公共交通を活用した旅行へのニーズの高まりに対応したサービスの提供により、観光旅行先として選ばれ続ける九州づくりに貢献する。</li> <li>● 人の移動に関するデータの取得・分析により、地域における全体最適な公共交通ネットワークの構築に貢献する。</li> </ul> |  |
| <b>評価指標</b>   |   |  |
| <p>評価指標目標、測定方法などを記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 月間アプリ利用者数 80,000/月</li> <li>● 移動総量の増加：「サービスが外出のきっかけとなった人」の割合70%以上（アンケート調査）</li> <li>● 公共交通分担率向上：「公共交通利用意欲が向上した人」の割合50%以上（アンケート調査） など</li> </ul>  |   |  |
| <b>今後の方向性</b>   |   |  |
| <p>九州経済連合会の主導する「九州MaaSプロジェクト研究会」と連携して以下の取組みを進め、官民共創による持続可能な事業運営体制・スキームを構築するとともに、スマートリージョンの構築に貢献する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 官民共創による広域MaaS推進体制の維持・構築。</li> <li>● 各県エリアおよびエリア横断のサービス導入の推進・継続。</li> <li>● 継続的なサービスプラットフォームの機能向上等による、他分野サービス連携の拡大。</li> <li>● 人の移動に係るデータの蓄積・分析による、モビリティ領域からのスマートシティへの貢献。</li> <li>● 人的プラットフォームの維持によるノウハウの蓄積・共有、リソースシェアの推進。</li> </ul> |   |  |